

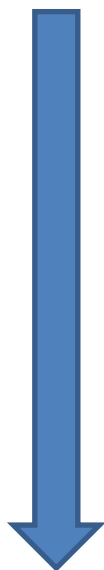
事業番号										新26-048						
平成 2 5 年行政事業レビューシート												(厚生労働省)				
事業名		キャリア相談メール事業				担当部局庁		職業能力開発局			作成責任者					
事業開始・終了(予定) 年度		平成26年度				担当課室		キャリア形成支援室			キャリア形成支援室長 浅野 浩美					
会計区分		労働保険特別会計雇用勘定				政策・施策名		V-1-1 多様な職業能力開発の機会を確保すること								
根拠法令 (具体的な条項も記載)		職業能力開発促進法第15条の2第1項第3号、同条第2項、雇用保険法第63条第1項第7号、雇用保険法施行規則第125条の2第2号				関係する計画、通知等		自民党雇用問題調査会提言(平成25年4月19日決定)								
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		若年労働者の能力開発やキャリア形成を支援していくためには、キャリアに関する相談支援を実施する必要がある。しかしながら、在職中の者は相談のために窓口に来所することが困難な場合がある上、若者の中には窓口での相談をためらう者もいる。このため、民間活力を活用して、若者を対象に、就職後もインターネットを通じて無料でキャリア・コンサルティングを受けることができるよう、専門家によるメール相談を実施することとする。														
事業概要 (5行程度以内。別添可)		若年労働者を対象として職場や仕事上の悩みや不安、社内等での職業能力開発に係る問題等、キャリアに関する相談に気軽に対応することができるよう、電子メールを活用して、キャリア・コンサルタントによるネット上での相談を実施する。 また、メールによる相談では解決できない場合や、対面による相談を希望する者に対応するため、対面等による相談を行う。														
実施方法		☐ 直接実施 ☒ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他														
予算額・執行額 (単位:百万円)				22年度		23年度		24年度		25年度		26年度要求				
		予算の状況	当初予算										20			
			補正予算													
			繰越し等													
		計										20				
		執行額														
執行率(%)																
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標						単位	22年度		23年度		24年度		目標値 (年度)	
		メール相談実施後のアンケートで、メールでの相談が「役に立った」と回答した者の割合				成果実績	%							—		
						達成度	%									
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標						単位	22年度		23年度		24年度		25年度活動見込	
		メールの延べ対応件数				活動実績 (当初見込み)	件			()		()		()		
単位当たりコスト		—				算出根拠		—								
平成25・26年度予算内訳	費 目		25年度当初予算		26年度要求		主な増減理由									
	生涯職業能力開発事業等委託費				20											
	計				20											

事業所管部局による点検						
	項 目			評 価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	若年労働者の能力開発やキャリア形成を支援していくためには、キャリアに関する相談を実施する必要がある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	本事業は、非正規の若年労働者を主な対象として考えており、キャリア・コンサルティングのための費用を負担する十分な余裕がないものに対して、対面での相談の入り口部分であるメールでの相談の実施を考えていることから、若年者のキャリア形成の支援のために国として実施する必要がある。	
	明確な政策目的（成果目標）の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			○	若年労働者のキャリア形成の観点からも、気軽に相談できる環境を整備することは重要である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			-	-	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			-	-	
	単位当たりコストの水準は妥当か。			-	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	事業の実施に必要な経費に限定されている。	
	不用率が多い場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）			-	-	
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			-	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			-	-	
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）			-	-	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	効果的な予算執行に努めるとともに実績等を踏まえ、必要に応じて見直しを行う。					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
一	本件事業は若年労働者を対象として職場や仕事上の悩みや不安、社内等での職業能力開発に係る問題等、キャリアに関する相談に気軽に対応することができるよう、電子メールを活用して、キャリア・コンサルタントによるネット上での相談を実施するものである。若年労働者の能力開発やキャリア形成を支援していくためには、キャリアに関する相談支援の実施が必要となるにも関わらず、窓口への来所が困難であったり、または窓口での相談をためらってしまう若者への支援として重要なものであり優先度が高いものである。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
一	-					
備考						
-						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	-	平成23年	-	平成24年	-

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
20百万円

事業主体として事業全体の企画立案、進捗管理
等



【一般競争・委託】

A.受託企業
20百万円

キャリア・コンサルタントによる電子メールでの相
談の実施等

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位: 百万
円)

A.

E.

費 目

使 途

金 額
(百万円)

費 目

使 途

金 額
(百万円)

費目・使途
(「資金の流れ」に
おいてブロックご
とに最大の金額
が支出されている
者について記載
する。費目と使途
の双方で実情が
分かるように記
載)

a					
計		0	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					